



平成28年7月12日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 松任 宏幸
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	400	300	200	3.13
今回修正予想(B)	40,000	600	500	400	6.26
増減額(B-A)	△1,000	200	200	200	
増減率(%)	△2.4	50.0	66.7	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年11月期)	36,916	△274	△381	△443	△6.93

平成28年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	600	600	500	7.82
今回修正予想(B)	38,000	700	650	600	9.39
増減額(B-A)	0	100	50	100	
増減率(%)	0.0	16.7	8.3	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年11月期)	34,289	43	411	△833	△13.04

修正の理由

(連結)

世界経済は中国経済減速の影響や年初からの円高に加え、新たにEU問題やテロ事件の拡大などにより、一層、不透明感が増してまいりました。こうした状況の急変の中、今後の見通しについては慎重な判断が必要と考えております。

第2四半期の業績につきましては、繊維機械事業ではインド市場の拡大、工作機械関連事業では国内自動車業界や米国市場の堅調な設備投資を受けて、当初予想を上回る成果を上げることができました。

第3四半期以降の見通しについては、繊維機械事業では大きな落ち込みはないと予想しております。また、工作機械関連事業に関しましては、国内市場は一時的な停滞が見込まれます。米国市場に関しましては欧州経済の動向にも影響を受けると考えられますが、当面堅調に推移すると予想しております。

このような状況から、通期業績予想につきましては、売上高 40,000百万円、営業利益 600百万円、経常利益 500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 400百万円と、平成28年4月12日に公表いたしました予想値を上回る見込みであります。

(個別)

業況につきましては上記と同様であります。

通期の業績予想につきましては、売上高 38,000百万円、営業利益 700百万円、経常利益 650百万円、当期純利益 600百万円と、平成28年4月12日に公表いたしました予想値を上回る見込みであります。

なお、詳細は本日開示いたしました「平成28年11月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」に記載の通りであります。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上